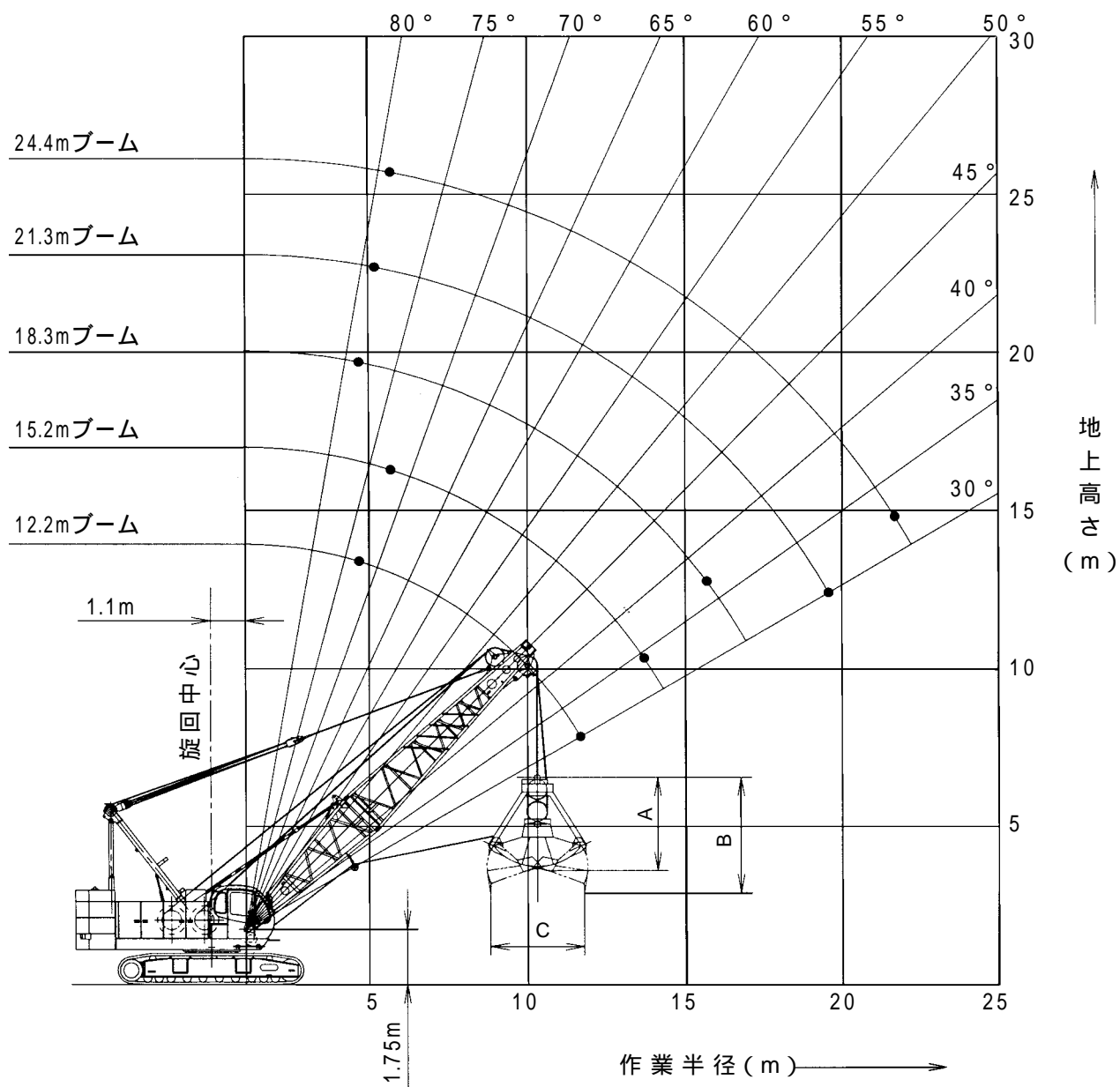


▶ クラムセル

▶ 作動範囲図



▶ クラムセルバケット仕様 (参考)

バケット容量 (m^3)	バケット質量 (t)	バケット寸法 (m)			用途
		A	B	C	
1.6	3.2	3.3	3.6	3.0	積込
2.0	3.8	3.5	3.9	3.1	積込
1.25	3.6	2.9	3.7	3.0	掘削
1.6	4.6	3.2	4.0	3.2	掘削

▶ クラムセル

■ クラムセル定格総荷重表 (t)

掘削作業およびブームに横引き荷重が作用する荷役作業の場合					
ブーム長さ 作業半径(m)	12.2	15.2	18.3	21.3	24.4
5	7.5		7.5		
5.5	7.5		7.5	7.5	
6	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4
7	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4
8	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4
9	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4
10	7.5	7.5	7.5	7.5	7.1
12	7.5	7.5	7.5	7.2	6.8
14		7.5	7.5	7.0	6.5
16			7.5	6.8	6.2
18				6.5	5.9
20				6.2	5.6
22					5.3

ブームに横引き荷重が作用しない荷役作業の場合					
ブーム長さ 作業半径(m)	12.2	15.2	18.3	21.3	24.4
5	10.0		10.0		
5.5	10.0		10.0	10.0	
6	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8
7	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8
8	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8
9	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8
10	10.0	10.0	10.0	10.0	9.4
12	10.0	10.0	10.0	9.6	9.0
14		10.0	10.0	9.3	8.6
16			10.0	9.0	8.2
18				8.1	7.8
20				7.0	6.9
22					6.1

■ 注

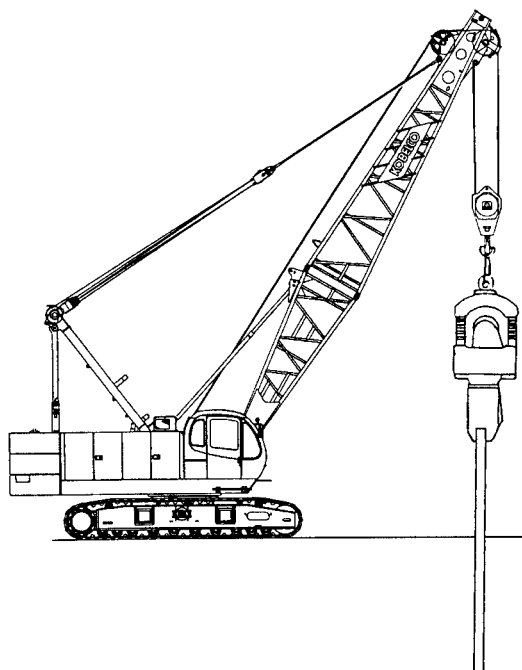
1. バケットと掘削物(内容物)の合計質量が上記の定格総荷重を越えてはなりません。

計算例

$$\begin{aligned} & \text{クラムセル} \\ & (\text{バケット容量} \times \text{掘削物比重} + \text{バケット質量}) \times \text{合計質量} \\ & 2.0\text{m}^3 \times 1.8 + 3.8\text{t} = 7.4\text{t} \end{aligned}$$

2. 定格総荷重は安定度およびブーム強度から決まっています。旋回時にブームに横引き荷重が作用するような急加速、急減速は避けてください。特にブームの長い場合、御注意願います。

▶ バイプロ



■ 使用上の主な注意点

- ① バイプロハンマは必ず定格総荷重以内で使用して下さい。

杭の打ち込み時：

$$\text{クレーンの定格総荷重} = \text{フック質量} + \text{杭質量} + \text{バイプロ質量}$$

杭の引き抜き時：

$$\text{クレーンの定格総荷重} = \text{フック質量} + \text{杭質量} + \text{バイプロ質量} + \text{バイプロ起振力} \times 1/4$$

- ② フックにバイプロハンマの起振力を直接伝えないように、必ずつりワイヤロープを使用して下さい。
- ③ フックとつりワイヤロープはバイプロハンマの起振力に見合ったものを使用して下さい。
- ④ バイプロハンマの緩衝ばねが密着しないようにフックの降下速度を調整して下さい。
- ⑤ バイプロハンマのみ、あるいは杭を空中でつり上げたままで運転しないでください。